

2012年度第2四半期業績の概況



新型『アウトランダー』

三菱自動車工業株式会社

2012年10月30日

2012年度第2四半期 決算 及び
2012年度 通期業績見通し

MIRAGE



新型『ミラージュ』

青 砥 修 一

常務取締役 (CSR・管理・経理統括部門担当)

2012年度第2四半期決算サマリー【6ヵ月累計、前年同期対比】

円高長期化・欧州債務問題深刻化など厳しい事業環境ながらも、
損益は計画線で推移

(単位: 億円,千台)

	FY11上期 実績①	FY12上期 実績②	差 ② - ①	FY12上期計画 7/30公表値
売上高	9,075	8,600	- 475	9,200
営業利益	342	308	- 34	300
経常利益	233	316	+ 83	260
当期利益	106	301	+ 195	200
販売台数 (小売)	519	478	- 41	504
販売台数 (卸売)	530	536	+ 6	552
うち OEM台数等	(36)	(45)	(+ 9)	(44)

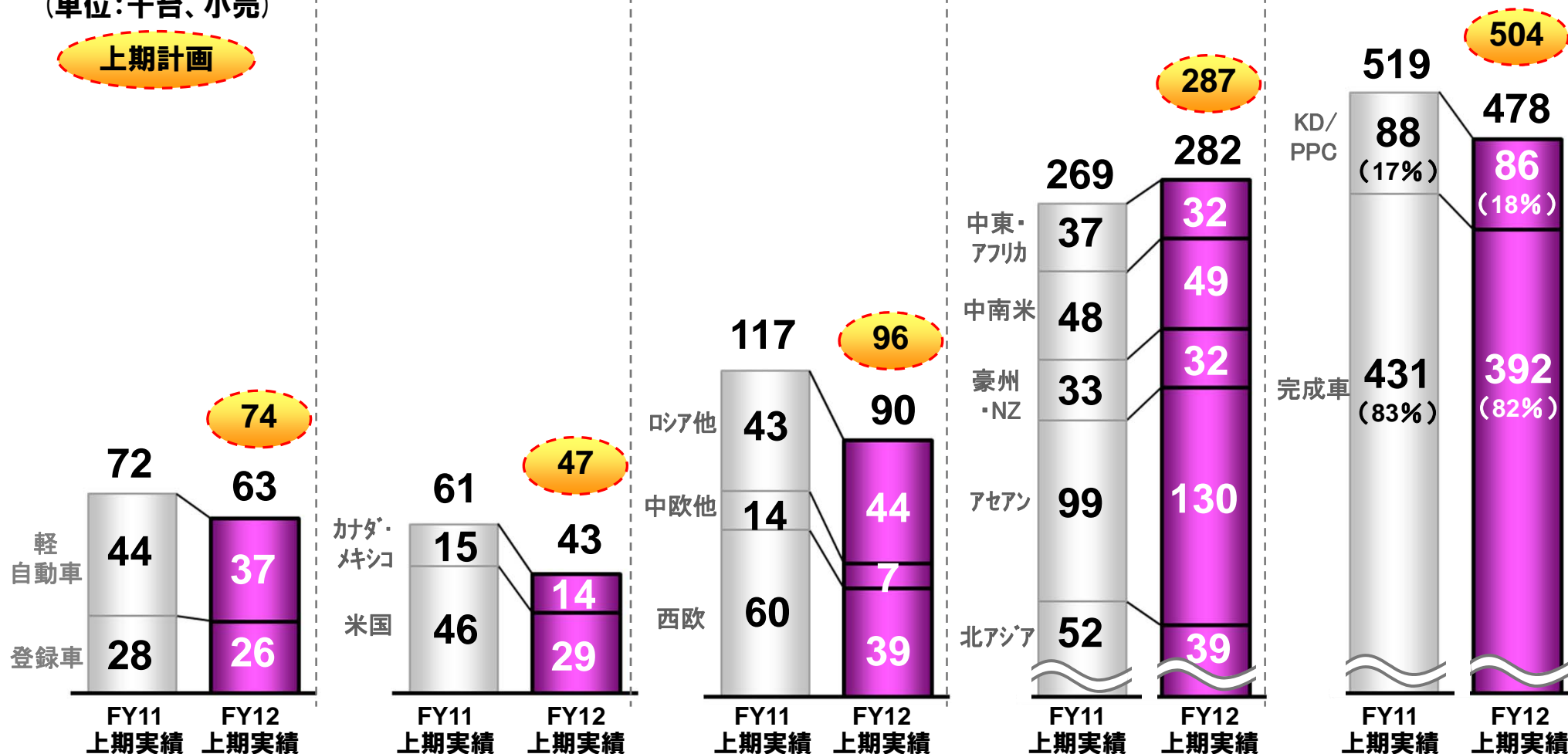
※注) 12年度第2四半期販売台数実績は速報値。

地域別販売台数実績【地域別6ヵ月累計、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年同期対比増減》				
- 9 (- 12%)	- 18 (- 29%)	- 27 (- 23%)	+ 13 (+ 5%)	- 41 (- 8%)

(単位:千台、小売)

上期計画



※注) 12年度第2四半期販売台数実績は速報値。

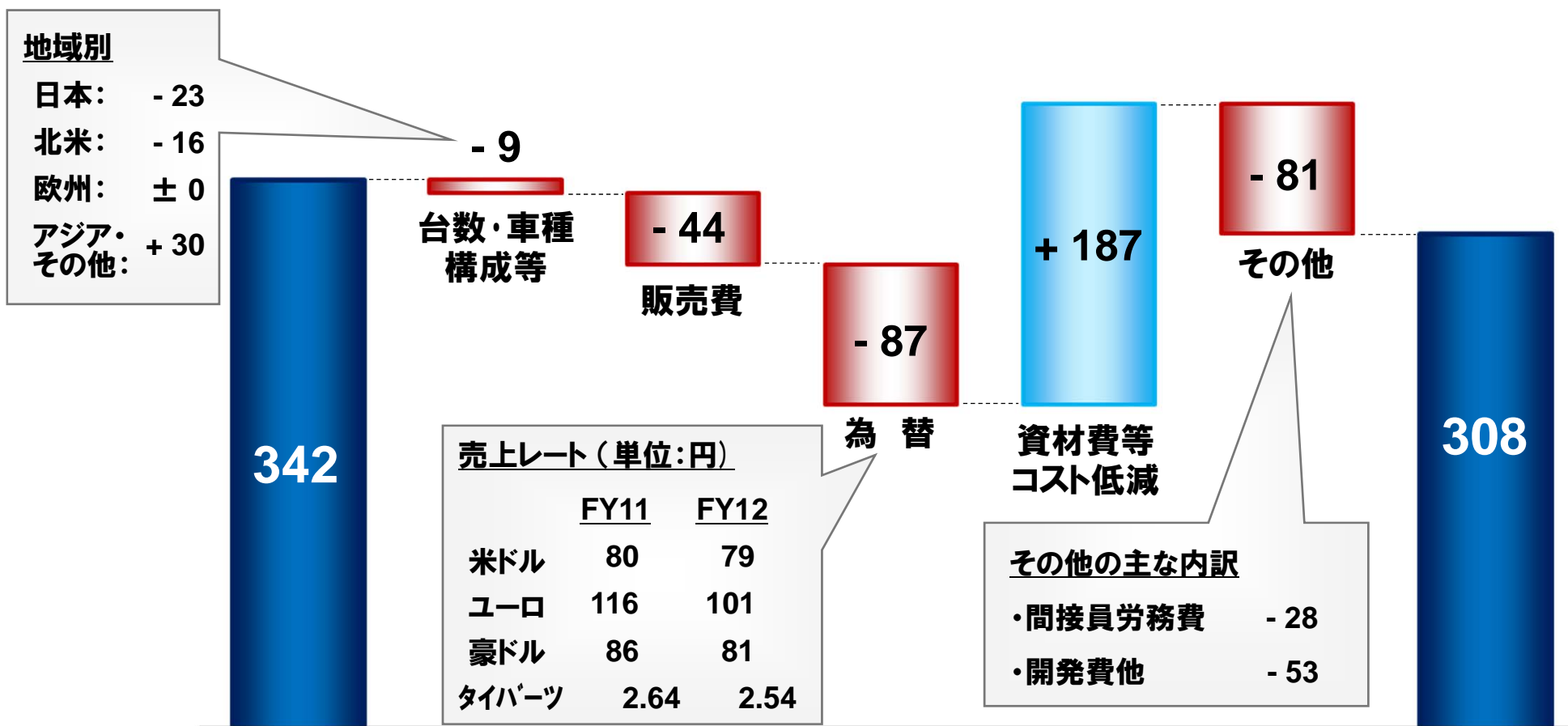
営業利益増減分析【前年同期対比】

(単位: 億円)

FY11 上期
実績

- 34億円

FY12 上期
実績



經常利益・当期利益【前年同期対比】

(単位：億円)

	FY11上期 実績①	FY12上期 実績②	差 ② - ①
営業利益	342	308	- 34
営業外損益	- 109	+ 8	+ 117
經常利益	233	316	+ 83
特別損益 及び法人税等	-127	- 15	+ 112
当期利益	106	301	+ 195

貸借対照表【前年度末対比】

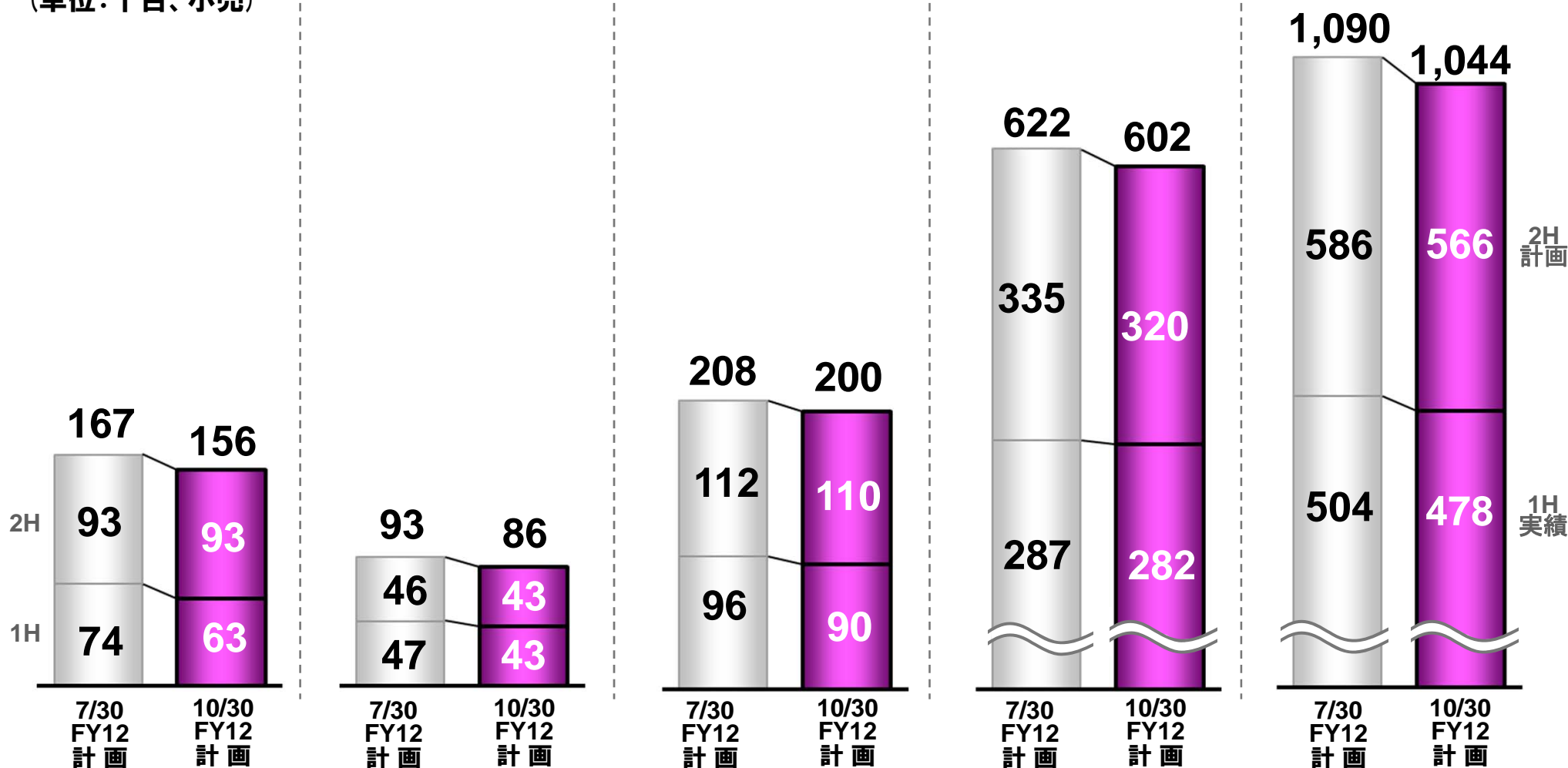
(単位：億円)

	FY11末 (' 12/ 3月末)	FY12 2Q末 (' 12/9月末)	増 減
資 産 合 計	13,213	12,574	- 639
うち 現金預金	3,116	3,149	+ 33
売上債権	1,462	1,125	- 337
たな卸資産	1,875	1,959	+ 84
負 債 合 計	10,557	9,852	- 705
うち 仕入債務	3,174	2,812	- 362
有利子負債	3,481	3,155	- 326
純資産合計	2,656	2,722	+ 66

2012年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【7/30公表値対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《7/30公表値対比増減》				
- 11 (- 7%)	- 7 (- 8%)	- 8 (- 4%)	- 20 (- 3%)	- 46 (- 4%)

(単位:千台、小売)



2012年度通期業績見通し 業績サマリー【7/30公表値対比】

卸売台数減少を費用削減・コスト低減等で打ち返し、利益目標は7/30公表通り

	FY12 7/30公表値	FY12 10/30公表値	【参考】(単位: 億円, 千台) FY11 実績		
売上高	19,800	18,300	18,073		
営業利益	800	800	637		
経常利益	620	620	609		
当期利益	130	130	239		
販売台数 (小売)	1,090	1,044	1,001		
販売台数 (卸売)	1,209	1,128	1,072		
うち OEM台数等	(91)	(77)	(87)		
為替前提レート			上期	下期	通期
米ドル	78		79	78	79
(円/1通貨単位) ユーロ	97		101	100	100
豪ドル	80		81	80	81
タイバーツ	2.55		2.54	2.65	2.59

増減内訳 (7/30公表値対比)	
・台数・車種構成等	-180
・販売費用	+50
・為替	+20
・資材費等コスト低減	+100
・間接員労務費等	+10

2012年度下期の取り組み



新型『アウトランダー』

益子 修

取締役社長

12年度は中期経営計画「ジャンプ2013」の最終年度に向けた種まきの年

懸念される事項

- ✓ 歴史的円高の長期化による収益悪化と競争力低下



当社の対応

- ✓ 成長する新興市場での生産体制の構築
 - 現地調達率の向上によるコスト低減
 - 為替変動リスクの抑制
- ✓ 新興市場の成長を取り込む

コスト低減と為替変動に左右されにくい生産体制の構築

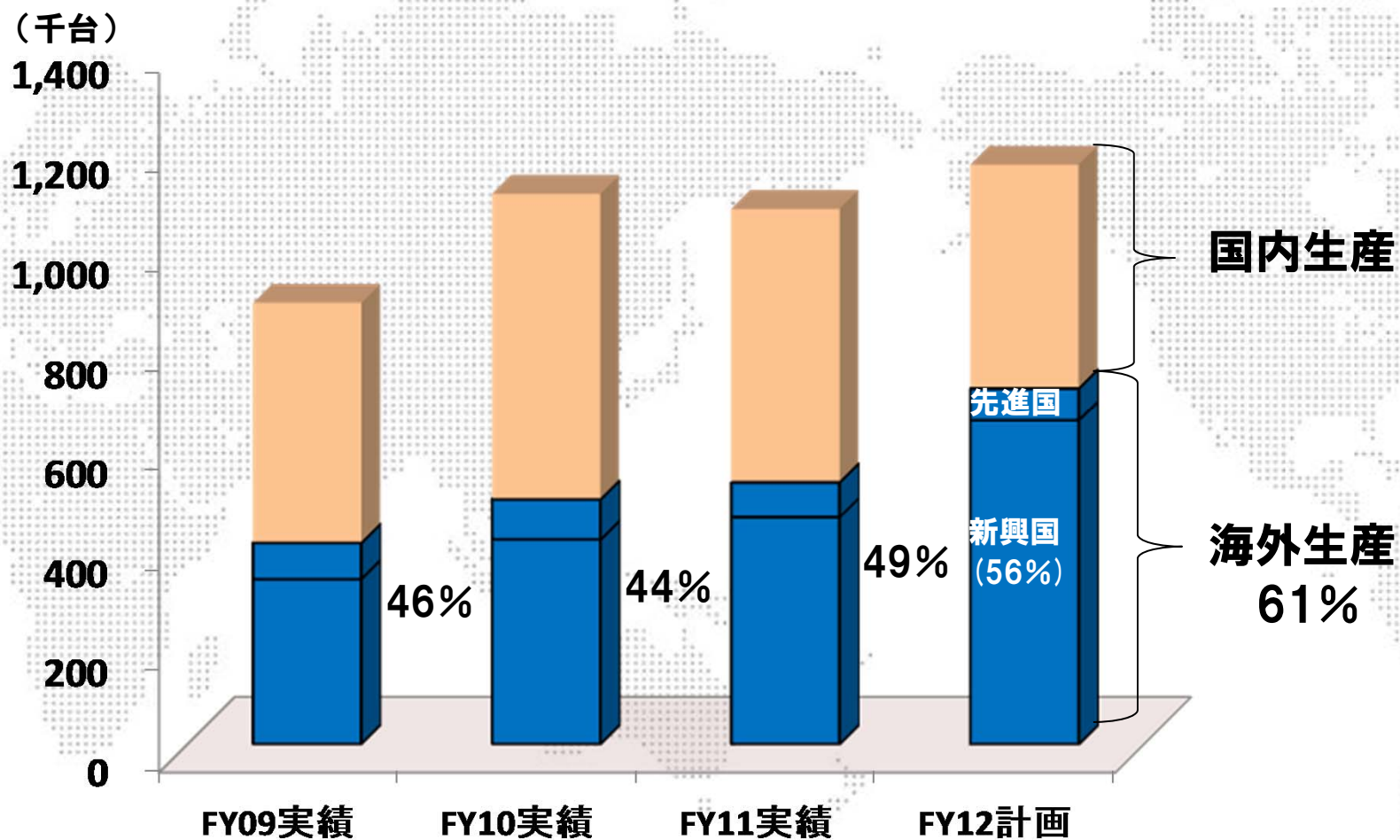
新興国：生産能力の増強

- ・タイ : 第3工場が稼動し『ミラージュ』の生産開始(4月)し、
更なる生産能力増強
- ・インドネシア : 新工場で『アウトランダースポーツ』の現地生産開始(7月)
- ・インド : 『パジェロスポーツ』の現地生産開始(9月)
- ・ロシア : ロシア向け新型『アウトランダー』の現地生産開始(11月)
- ・中国 : 広州汽車との新合併会社(広汽三菱汽車有限公司)での
『ASX』(日本名:『RVR』)生産(10月)

欧州：生産能力の適正化

- ・オランダ : NedCarの株式譲渡契約締結し、年内に生産終了

新興国での現地生産化により海外生産比率は6割を上回る



※ 当社管理台数ベース
(自工会ベースでは海外KD部品を国内生産区分としているが、当社管理ベースでは同部品を使用し現地工場で車両生産した時点で海外生産区分とカウント。)

新型『ミラージュ』のグローバル展開

MIRAGE



新型『ミラージュ』

タイで好調な立ち上がり

- タイ(3月発売): 4万2千台受注
(10/29時点)
- 日本(8月発売): 1万2千台受注
(10/29時点)

FY11/4Q	FY12/1Q	FY12/2Q	FY12/3Q	FY12/4Q
	タイ (3月販売開始)	インドネシア (9月販売開始)	フィリピン (11月販売開始予定)	マレーシア (11月販売開始予定)
		日本 (8月販売開始)		豪州
				欧州

新型『アウトランダー』のグローバル展開

OUTLANDER




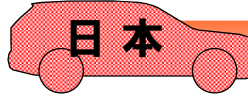




新型『アウトランダー』

ロシアで好調な立ち上がり

➤ ロシア(7月発売):1万2千台受注

(10/29時点)

FY12/1Q	FY12/2Q	FY12/3Q	FY12/4Q
	 ロシア (7月販売開始)	 (11月現地生産開始)	
	 欧州 (9月販売開始)		
		 日本 (10月販売開始)	
		 豪州 (11月販売開始予定)	
			 中国 (1月販売開始予定)

環境対応車のラインナップ強化



新型『アウトランダー PHEV』

- 2013年1月に発売予定
- EV派生型の「プラグインハイブリッドEVシステム」を搭載
- SUVとしては世界初のプラグインハイブリッド車



『MINICAB-MiEV TRUCK』

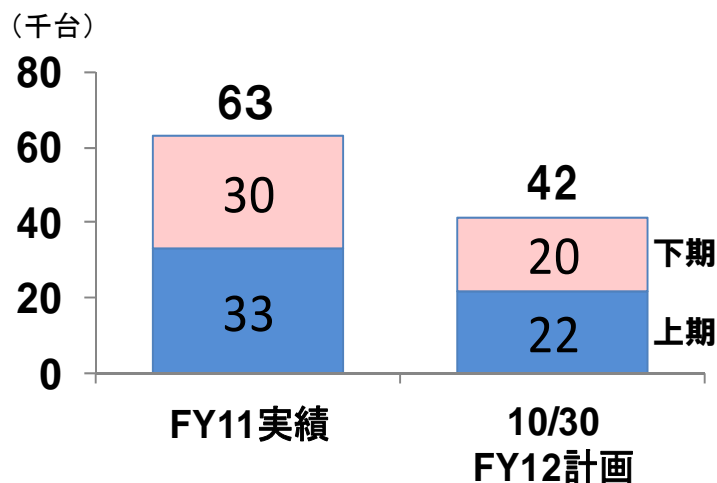
- 2013年1月に発売予定
- ベース車の『ミニキャブトラック』と同等の積載性を保ちつつ、EVならではの環境性能、動力性能、静粛性、快適性を実現

『デリカD:5』クリーンディーゼル車

- 2012年12月に発表予定

9月以降中国情勢を注視し、販売計画を慎重に見直し

販売台数



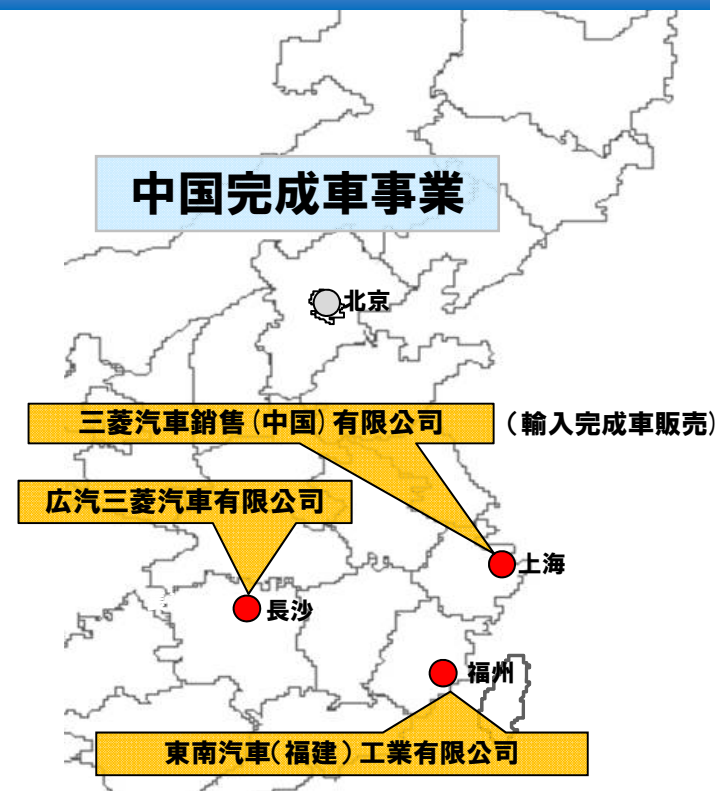
中国は中長期的に成長が期待できる重要な市場

新合併会社(広汽三菱汽車有限公司)

出資比率 広州汽車:50%、当社:33%、三菱商事:17%

- ・ 広州汽車との新合併会社設立し9月に営業開始
- ・ 現地生産化した『ASX』(日本名:『RVR』)を12月中旬から販売開始予定
- ・ 『パジェロスポーツ』投入予定

中国完成車事業



『ASX』(日本名:『RVR』)

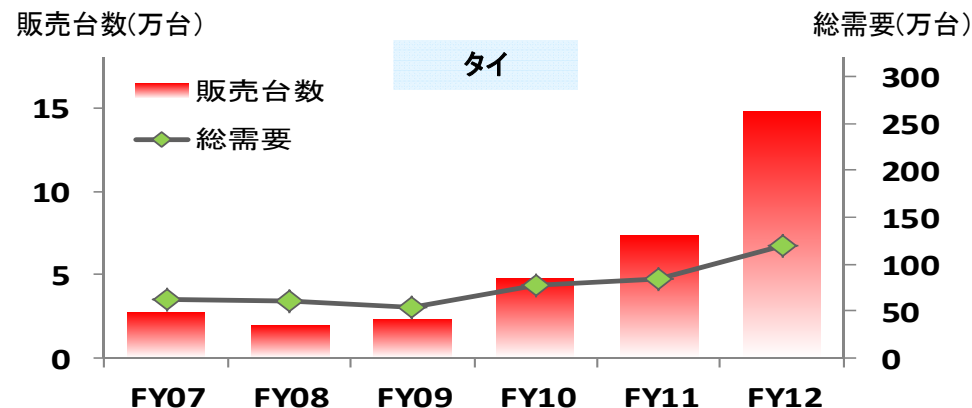


『パジェロスポーツ』

新興市場での販売拡大

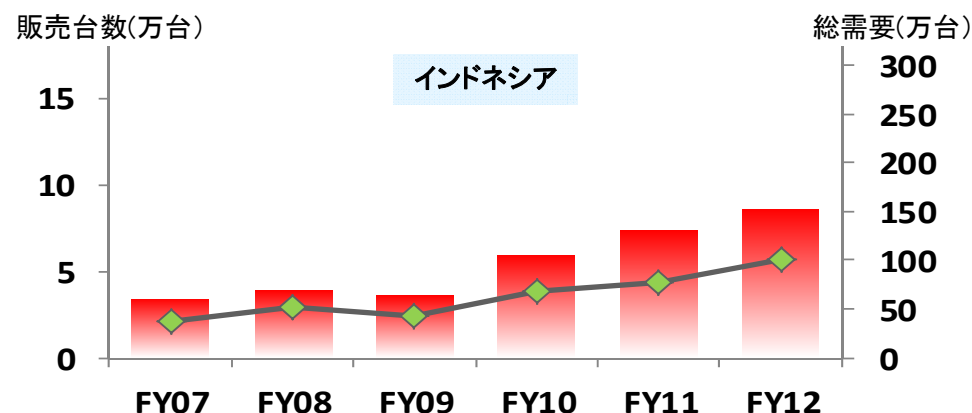
■ タイ

- 新型『ミラージュ』、主力車種『トライトン』、『パジェロスポーツ』の販売拡大
- 12年度の販売台数は倍増の15万台を目指す
- 輸出を拡大し、12年度は前年度比6割増の24万台を計画



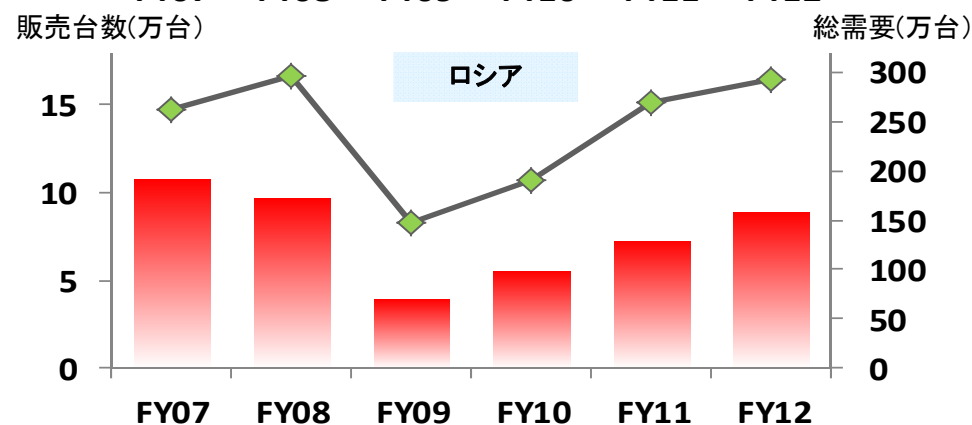
■ インドネシア

- 現地生産開始した『アウトランダースポーツ』（日本名:『RVR』）の販売拡大
- 新型『ミラージュ』の販売拡大
- 12年度は9万台の販売を目指す



■ ロシア

- 現地生産する新型『アウトランダー』を中心に販売拡大
- 12年度は9万台の販売を目指す

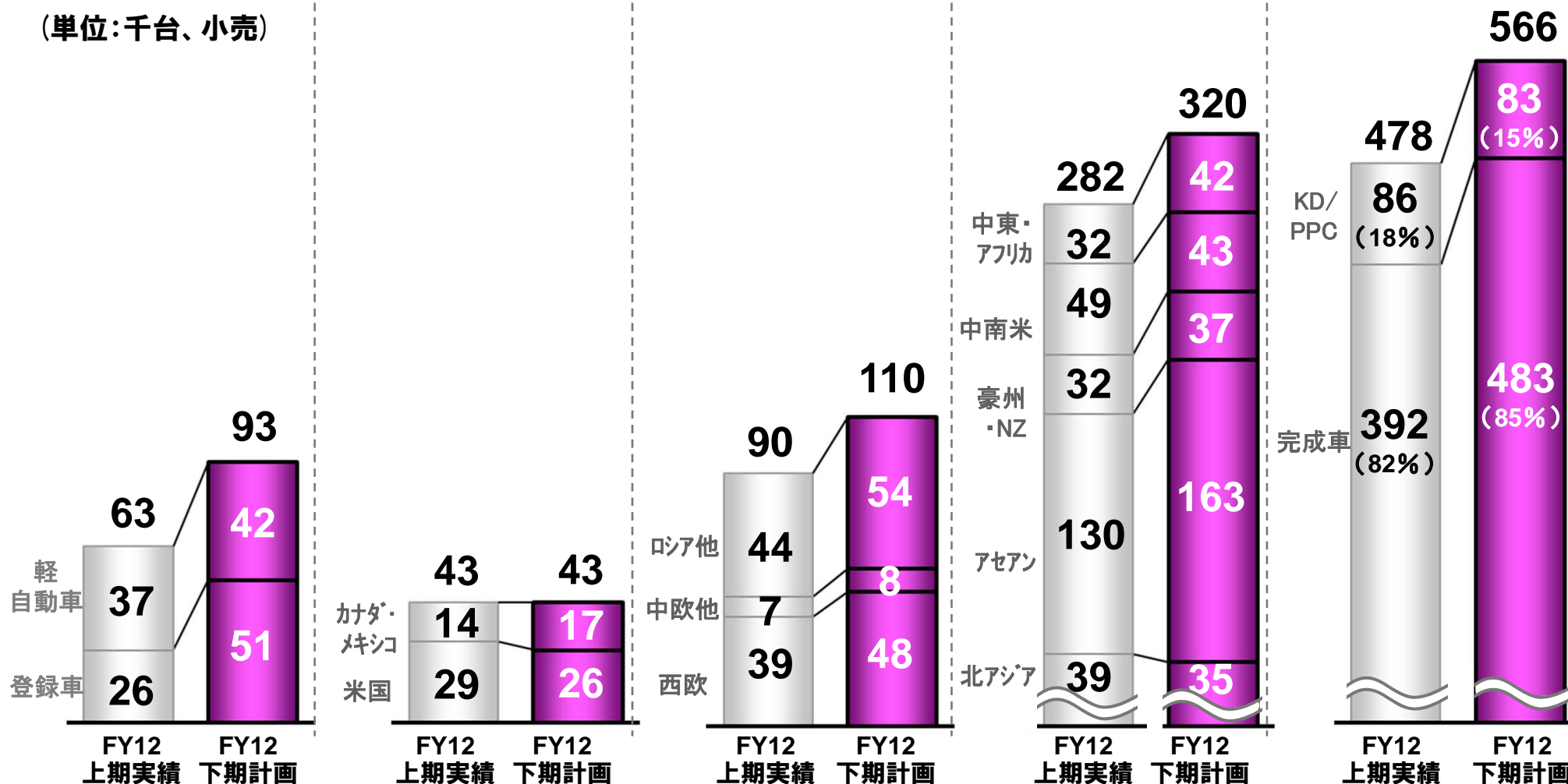


出典: IHSオートモーティブ12年7月版、当社調べ

2012年度地域別販売台数計画【12年度上期実績対下期計画】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《上期実績対比増減》				
+ 30 (+ 46%)	± 0 (± 0%)	+ 20 (+ 23%)	+ 38 (+ 14%)	+ 88 (+ 18%)

(単位:千台、小売)



※注) 12年度第2四半期販売台数実績は速報値。

■ 2012年度第2四半期累計実績

円高長期化・欧州債務問題深刻化など厳しい事業環境ながらも、
損益は計画線で推移

- 販売台数(小売) 478千台 前年度比 8%減少
- 販売台数(卸売) 536千台 前年度比 1%増加
- 売上高 8,600億円 前年度比 5%減収
- 損益 営業利益 308億円 前年度比 10%、34億円減益
(資材費等コスト低減効果で改善した一方、為替の円高影響等により減益)
当期利益 301億円 前年度比 184%、195億円増益

■ 2012年度通期見通し

新型車のグローバル展開で、販売台数増、増収、営業増益を目指す

- 販売台数(小売) 1,044千台 前年度比 4%増加
- 販売台数(卸売) 1,128千台 前年度比 5%増加
- 売上高 18,300億円 前年同期比 1%増収
- 営業利益 800億円 前年度比 26%増益 当期利益 130億円 前年度比 46%減益

添付資料

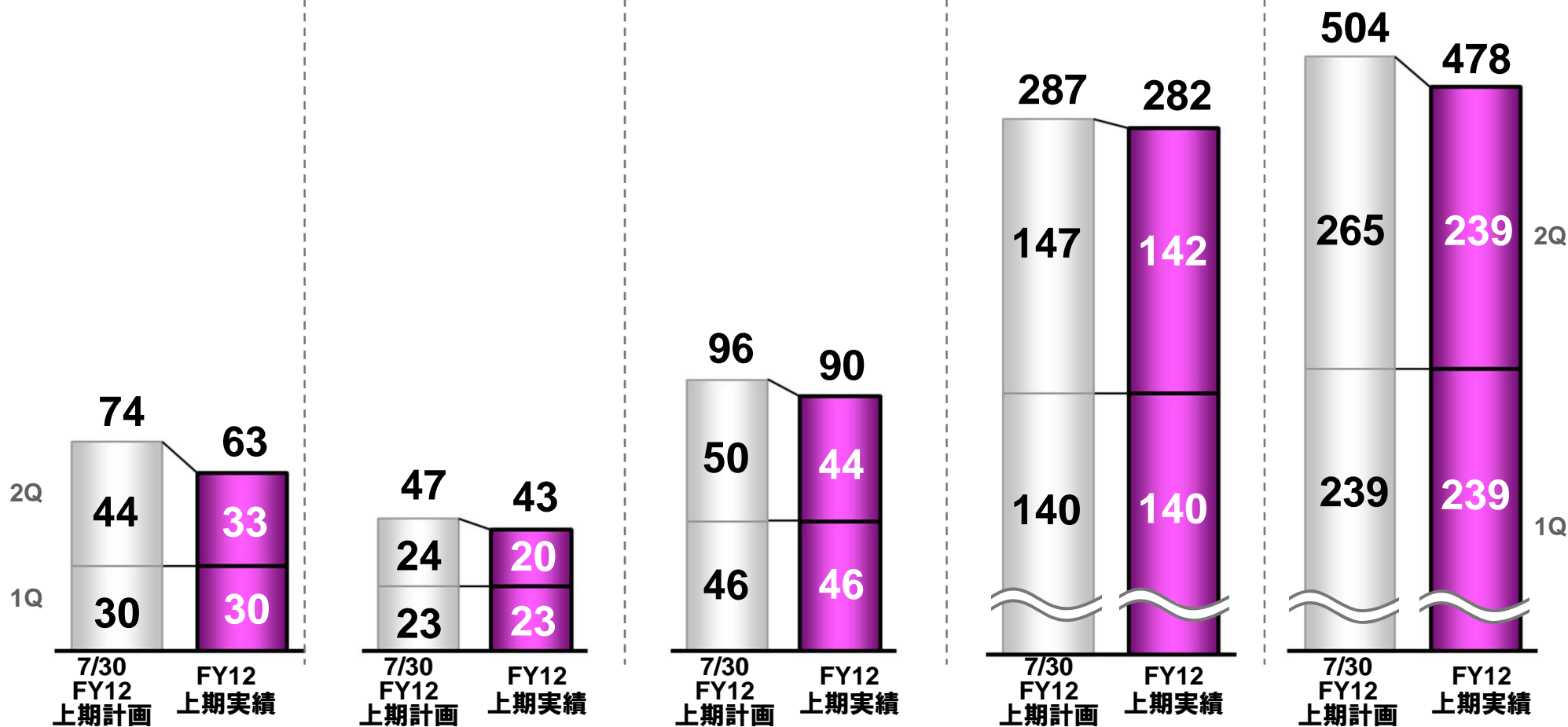


「パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム」『i-MiEV Evolution』

地域別販売台数実績【四半期別6ヵ月累計、7/30公表値対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《7/30公表値対比増減》				
- 11 (-15%)	- 4 (-8%)	- 6 (-6%)	- 5 (-2%)	- 26 (-5%)

(単位:千台、小売)

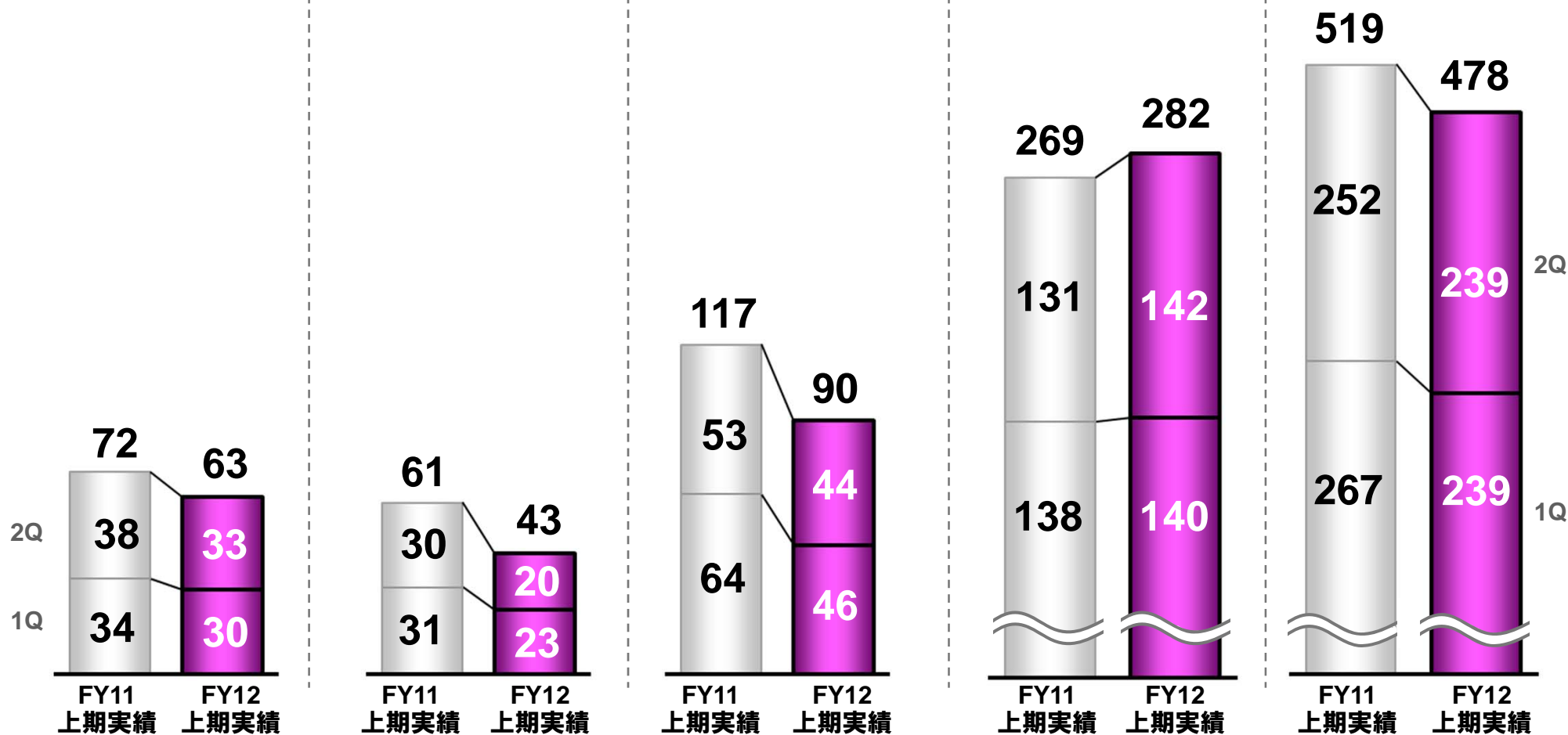


※注) 12年度第2四半期販売台数実績は速報値。

地域別販売台数実績【四半期別6ヵ月累計、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年同期対比増減》				
- 9 (- 12%)	- 18 (- 29%)	- 27 (- 23%)	+ 13 (+ 5%)	- 41 (- 8%)

(単位:千台、小売)



※注) 12年度第2四半期販売台数実績は速報値。

2012年度第2四半期累計期間 地域別業績【前年同期対比】

(単位：億円)

	FY11上期 実績 ①	FY12上期 実績 ②	増減 ②-①
売上高	9,075	8,600	-475
- 日本	1,634	1,549	-85
- 北米	971	798	-173
- 欧州	2,542	2,109	-433
- アジア・その他	3,928	4,144	+216
営業利益	342	308	-34
- 日本	10	-84	-94
- 北米	-120	-131	-11
- 欧州	-88	-89	-1
- アジア・その他	540	612	+72

2012年度第2四半期累計期間 四半期別業績サマリー

(単位: 億円, 千台)

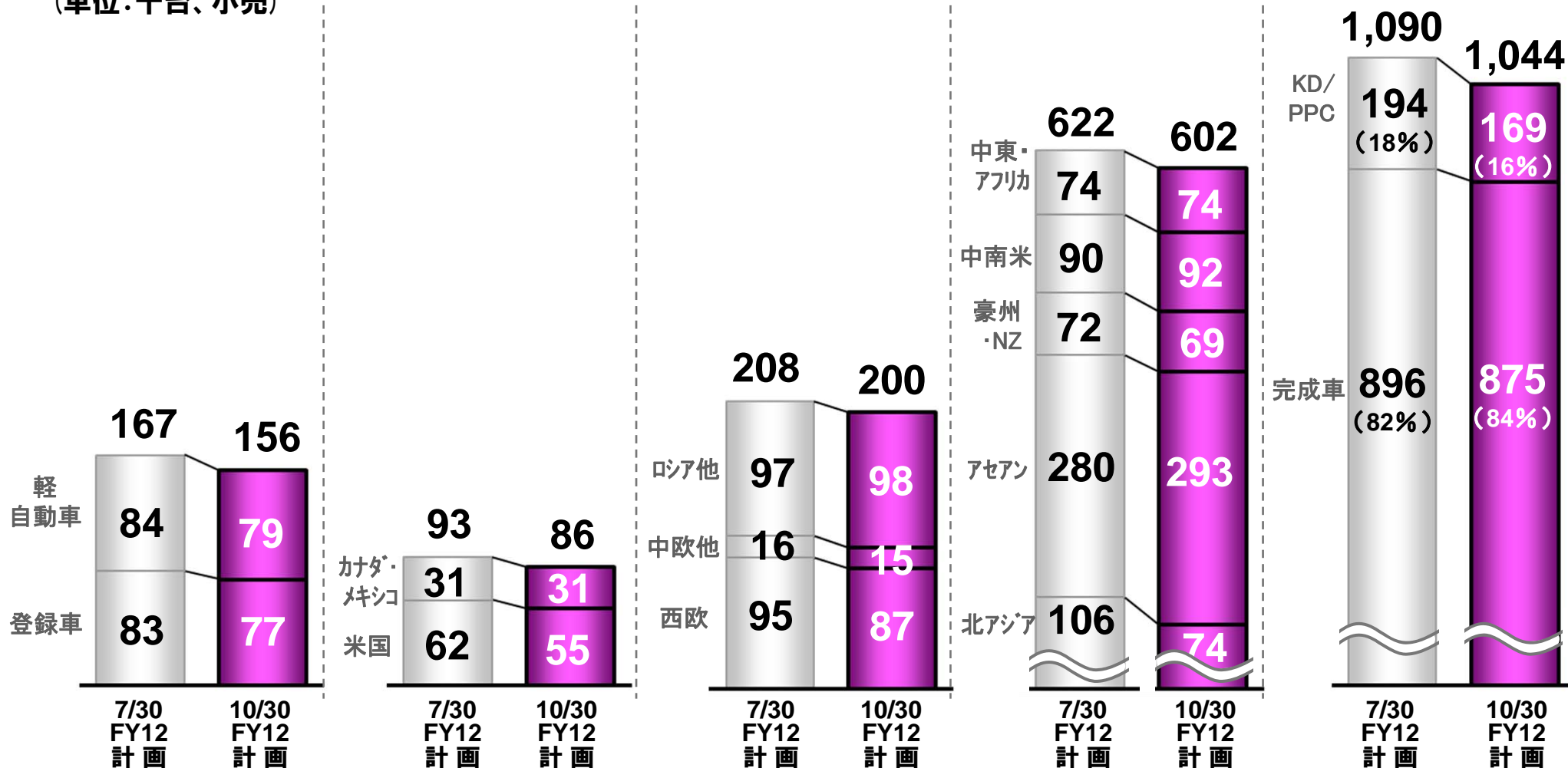
	FY12 1Q ('12/4-6)	FY12 2Q ('12/7-9)	FY12 上期 ('12/4-9)
売上高	4,193	4,407	8,600
営業利益	149	159	308
経常利益	142	174	316
当期利益	200	101	301
販売台数 (小売)	239	239	478
販売台数 (卸売)	258	278	536
うち OEM台数等	(22)	(23)	(45)

※注) 12年度第2四半期販売台数実績は速報値。

2012年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【7/30公表値対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《7/30公表値対比増減》				
- 11 (- 7%)	- 7 (- 8%)	- 8 (- 4%)	- 20 (- 3%)	- 46 (- 4%)

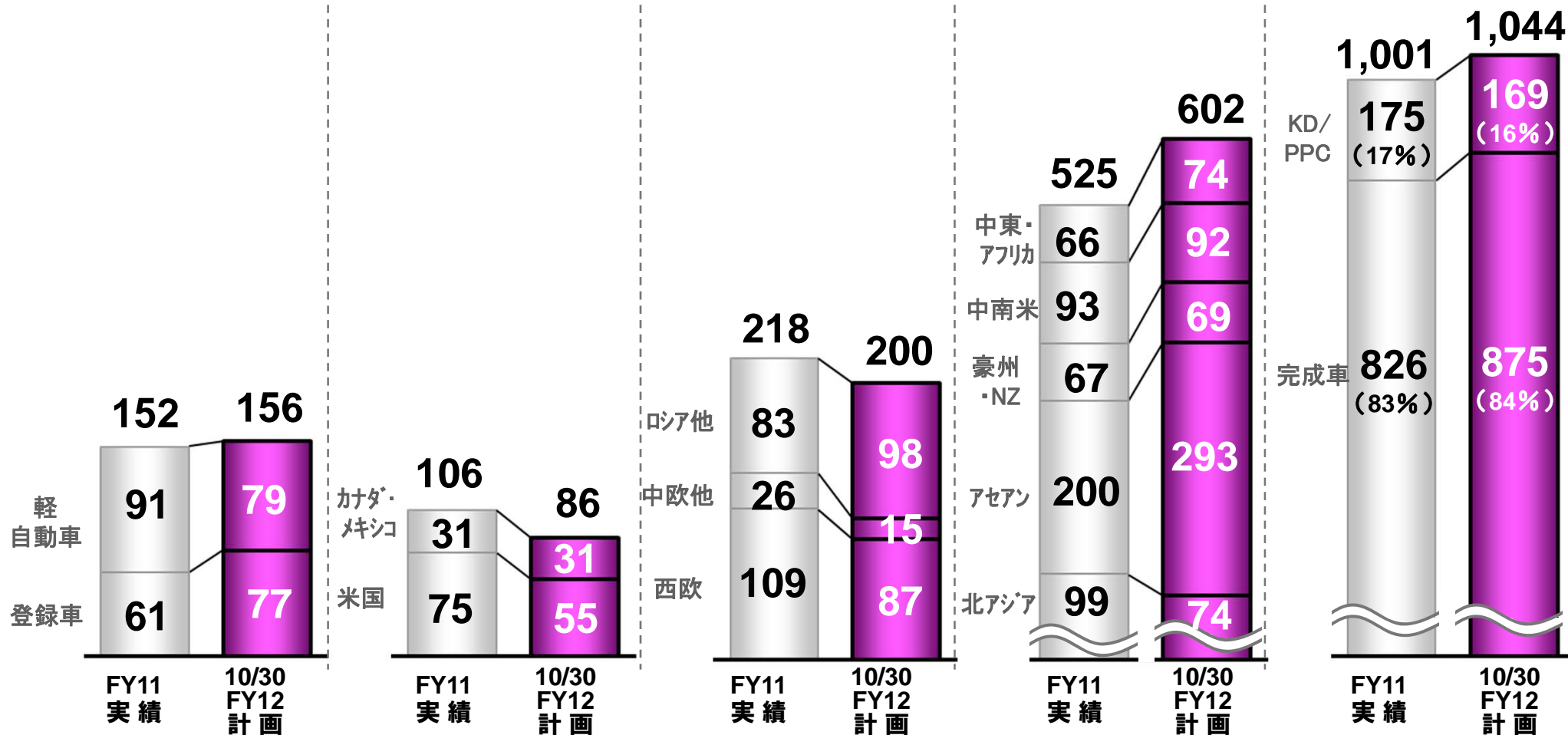
(単位:千台、小売)



2012年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》				
+ 4 (+ 3%)	- 20 (- 19%)	- 18 (- 8%)	+ 77 (+ 15%)	+ 43 (+ 4%)

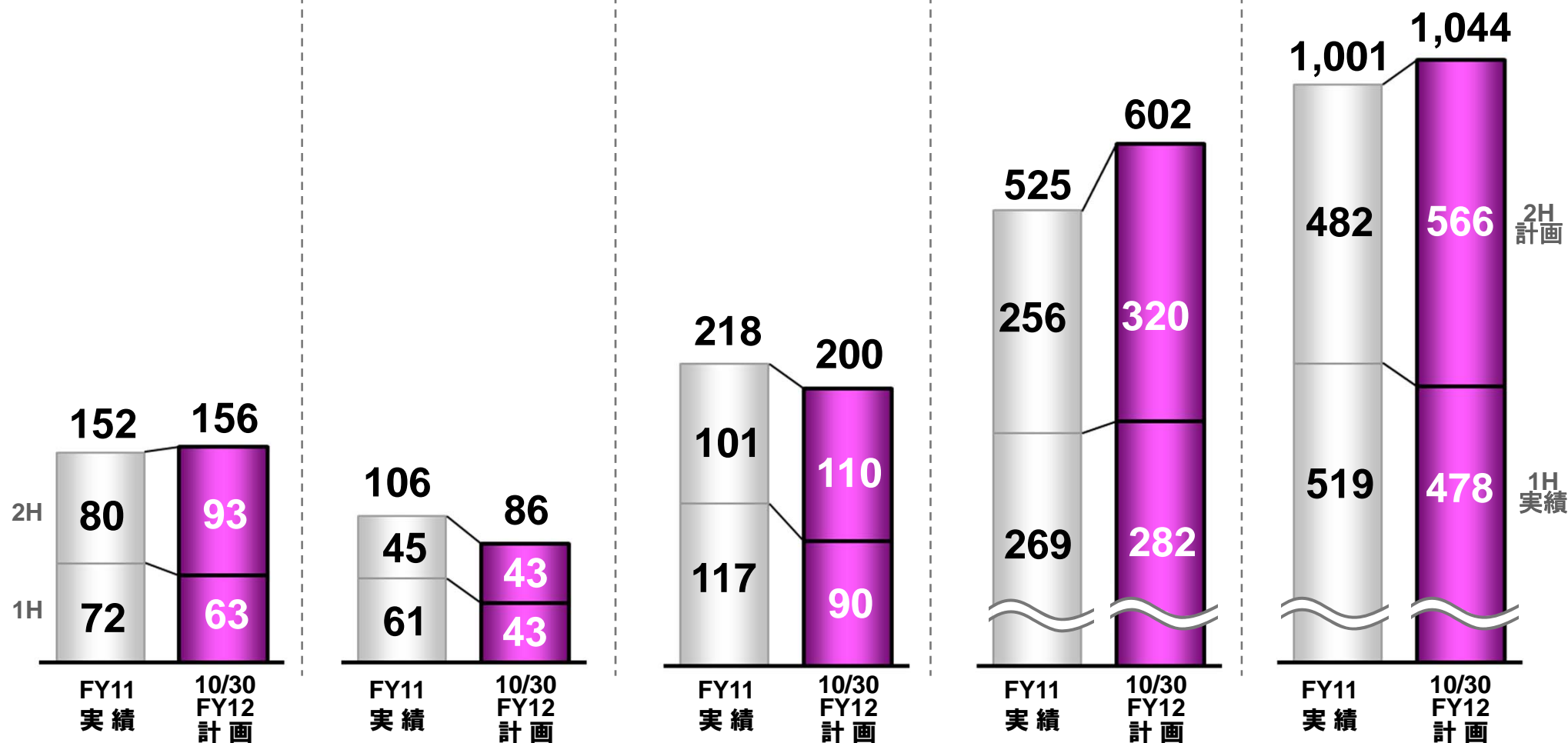
(単位:千台、小売)



2012年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》				
+ 4 (+ 3%)	- 20 (- 19%)	- 18 (- 8%)	+ 77 (+ 15%)	+ 43 (+ 4%)

(単位:千台、小売)



2012年度営業利益見通し増減分析 【前年度対比】

(単位: 億円)

FY11
実績



10/30
FY12
見通し

地域別

日本:	- 10
北米:	+ 20
欧州:	- 10
アジア・その他:	+280



台数・車種
構成等



販売費



為替



資材費等
コスト低減



その他



売上レート (単位:円)

	FY11	FY12
米ドル	79	79
ユーロ	111	100
豪ドル	83	81
タイバーツ	2.59	2.59

その他の主な内訳

・開発費	- 140
・間接員労務費	- 60
・国内子会社・部用品他	- 67

2012年度地域別業績見通し【前年度実績・7/30公表値】

(単位：億円)

	FY11 実績	FY12 7/30公表値	FY12 10/30公表値
売上高	18,073	19,800	18,300
- 日本	3,571	4,050	3,600
- 北米	1,952	1,700	1,500
- 欧州	4,748	4,450	4,000
- アジア・ その他地域	7,802	9,600	9,200
営業利益	637	800	800
- 日本	68	70	-50
- 北米	-262	-260	-230
- 欧州	-156	-350	-260
- アジア・ その他地域	987	1,340	1,340

■ 新型『アウトランダー』のコンセプト

(1) 安全: 先進安全装備・高性能4WD等による優れた安全性能の実現

3つの機能によって、安全で快適な運転をサポートする先進の安全技術

「e-Assist(イーアシスト)」を採用

- ・ 衝突被害軽減ブレーキシステム
- ・ 車線逸脱警報システム
- ・ レーダークルーズコントロールシステム

(2) 環境: 低燃費化技術・軽量化等による高い環境性能の実現

- ・ 自分でエコする 賢いエンジン「エコサポート」
- ・ クラストップ※1の低燃費
(2WD 車:15.2km/L、4WD 車:14.4km/L)※2

(3) 上質: 外観・内装・走りなど全体的な質感の向上



新型『アウトランダー』

※1: SUV 7人乗り・2.0L/2.4Lクラスにおいて。2012年10月現在、当社調べ

※2: JC08モード燃料消費率(国土交通省)

三菱プラグインハイブリッドEVシステム

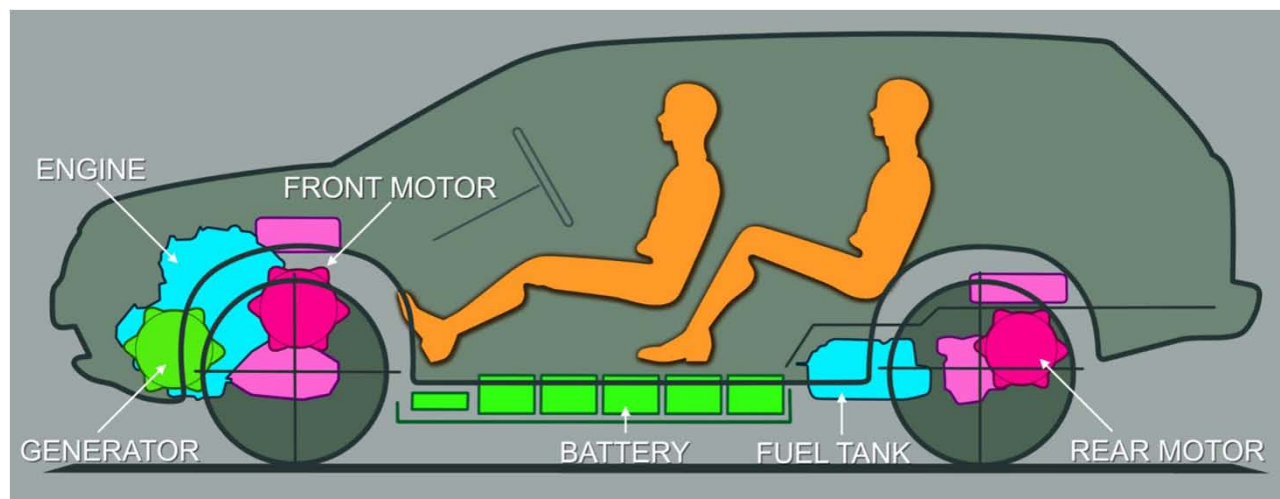


『アウトランダーPHEV』



※State of Charge

- 目標EV走行距離 : 55km 以上
- 目標航続可能距離 : 880km 以上
- 目標複合燃料消費率 : 61km/L 以上



システム構成

1. EVコンポーネント

- 駆動用バッテリー
- 前後のモーター
- 前後のインバーター

2. エンジン・燃料タンク

3. ジェネレーター

電動システム搭載車の展開拡大

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
日本	<ul style="list-style-type: none"> ・フリート販売 09年7月～ <p>『i-MiEV』</p>  <p>販売実績: 1.4千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般販売 10年4月～ <p>『MINICAB-MiEV』</p>  <p>販売実績: 2.6千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「M」「G」の2グレード展開 11年7月～ <p>販売実績: 5千台</p>	 <p>『MINICAB-MiEV TRUCK』</p> <p>11年12月～ 軽商用電気自動車</p> <p>軽トラックEV</p> <p>PHEV</p> <p>『アウトランダーPHEV』</p>
	海外	<ul style="list-style-type: none"> ・右ハンドル車（香港、イギリス他） 09年秋～ <p>欧州向け『i-MiEV』</p>  <p>販売実績: 0.2千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州（左ハンドル市場含む）/PSAプジョー・シトロエン社向け 10年10月～ <p>販売実績: 5.6千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北米 11年11月～ <p>販売実績: 11千台</p>

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



mitsubishi MOTORS